

1月号



広報 みぶ



町の花 ゆうがお

発行 栃木県壬生町 昭和56年1月15日



初 市

1月14日、壬生駅前で新春恒例の初市が行われ、
数々の物を求める多せいいの客で賑わいました。

わ
れ
ら
ト
リ
年

「しばらくやってない編物を今年こそはやってみたい」とおしゃる明治42年生まれの笹本セツさん（六美町南部）



「今年こそは計画性のある仕事を行って、余暇を作りたい」と語る昭和20年生まれの大塚一美さん（七ヶ石本郷）



「健康に注意し、今年は旅行でもしてみたい」と大正10年生まれの中村正勝さん（壬生下馬木）



「今でも仕事を手伝いたがるんですよ」と家族が言うほど達者な明治18年生まれの川又チヨさん（中泉）



「今年は野球で優勝できるよう頑張る」と田舎44年生まれの荒川茂君（藤井田向）



「何が良いい趣味をつけて勉強しておこう」とおしゃる昭和20年生まれの村山さとさん（安塙一）



「健康新意にして、家庭田舎に暮らしたい」と語る明治30年生まれの藤原義久さん（北原）



「余暇を利用して民謡でも習ってみたい」と昭和8年生まれの高山敏子さん（国谷一）

大空へ羽ばたく飛躍の年

新年あめでといひやごります。
こじこは「てこ年」正確には「酉」こと
字を書き、「てこてこのことだぞ」です。
因みに辞書を引くと、「①十一月の十番目②午後八時、お
よびその前の時間③魚の動物では鰐類のことをも」とあります。
古いから私たちと一緒に家禽…。大空を舞い、空を飛ぶ人間の夢を実現さ
せてくれた鳥たち。最近では鳥の生態と環境のかかわりなど…。
いずれにしても、私たちは生活と鳥類とのかかわりなど…。
新しい年を迎えて、大空へ羽ばたく鳥のよき飛躍の年。佳き年を願つて、ヒーリ
年生まれの方々に激励していただきました。

「中学生になるので、勉強と
運動を一生けんめいやつます」と語る
と昭和44年生まれの染畠美佐江ちゃん（鹿島）

「やさしくね。（旭町、関口正一さん）長男）



「やだいことが山積しているが、それ
を一つ一つ解決して行きたい」と語る
昭和8年生まれの手塚昭平さん（鶴見）



「消費者に好まれるトマトを作つて
経営を安定させたい」と張る昭和
32年生まれの山井紀雄さん（北小林）



「初心忘るべからず。今年は私の年、家事に励み
幅のない年にしたい」とおしゃる昭和32年
生まれの森島富子さん（幸町四丁目）

お知らせコーナー

2月26日(木) 獨協医科大学 時間は、いずれも午前10時から
始まります。(無料)

23

その一 壬生寺（上新町）



師堂と大銀杏

十四年（八四七年）に朝求麻した。その間の事を記した「入唐行記」は、世界の三大旅行記の一つとして名高い。尚、帰朝に際しては、沢山の經典や仏具を持ち帰った。その後北戻り、山上第3代の天台宗の祖である。大師は常に第三回の巡錫、めぐり歩くして、布教活動を始めたが、大師を創建開基、或は中興の祖と仰ぐべきは、実に泉の中尊寺である。例えば、平泉の中尊寺、松島の瑞巌寺、山形の立石寺等である。山の地藏堂、日光輪王寺三佛堂、白糸巣山勝景寺、東京の浅草寺等である。長野の善光寺等である。貞寧寺等である。

（六八六年）日光輪王寺第13代、天親大師の命により、山門を設立。直次が大師堂及び地藏堂を壬生寺の地に建立した。大師堂は赤塗りで、御厨堂は瓦葺きの堂である。御厨堂の梵鐘大師像は宏道大師作である。又、寺の境内にある樹齡三五百歳の杉木筒は、大師が誕生の時使用した産石である。石の井戸筒は日本寺の井戸筒である。山惣御徒の樹に因る所なのである。又、寺の境内にある樹齡三五百歳の杉木筒は、大師が誕生の時使用した産石である。石の井戸筒は日本寺の井戸筒である。山惣御徒の樹に因る所なのである。

とも五年後とも言われる大銀杏である。県の天然記念物である。月の節分には厄除けの追儺（まよひ）が奉行され、近隣は賑わう。東京方面からも講によつて訪れる人大である。また、多くの地に林寺であるが、後に小山市飯塚に移転）があつた。

2月の納税
固定資産税
第4期分
国民年金
1・2・3月分

おとしよりの看護法を
学んでみませんか
老人看護講習会
とき 2月4日(水)
午前10時～午後3時
ところ 中央公民館会議室
講師 萩田美知子(獨協医科大学)

今月の人口	
1月1日現在	対前月比
総人口34,951人	+21
男 17,383人	+ 2
女 17,568人	+19
世帯数 9,528世帯	- 5

56.1.15発行
2月の納税
固定資産税
第4期分
国民年金
1・2・3月分